

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】平成28年1月28日(2016.1.28)

【公開番号】特開2015-110130(P2015-110130A)
 【公開日】平成27年6月18日(2015.6.18)
 【年通号数】公開・登録公報2015-039
 【出願番号】特願2015-57385(P2015-57385)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 3 4

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成27年12月2日(2015.12.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技を行うことが可能な遊技機であって、
遊技媒体が入賞可能な開放状態と、遊技媒体が入賞不可能な閉鎖状態とに変化する可変
入賞装置と、
少なくとも第1事象が発生したことおよび第2事象が発生したことを含む信号出力条件
が成立したことにもとづいて、外部出力信号を出力するための外部出力手段と、
前記可変入賞装置内の所定領域を遊技媒体が通過したことにもとづいて価値を付与する
価値付与手段とを備え、
前記外部出力手段は、
前記第1事象が発生したときと前記第2事象が発生したときとで、当該遊技機に設けら
れた共通の出力端子から前記外部出力信号を出力可能であるとともに、
前記外部出力信号を出力しているときに新たに信号出力条件が成立した場合には、前記
外部出力信号の出力が終了するタイミングを遅らせる
 ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、遊技を行うことが可能な遊技機に関する。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

【特許文献1】特開2006-136708号公報

【特許文献2】特開2000-271286号公報

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明は、外部装置に情報を出力するための機構の部品数の増加や配線作業の複雑化を防ぐことができる遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明による遊技機は、遊技を行うことが可能な遊技機であって、遊技媒体が入賞可能な開放状態と、遊技媒体が入賞不可能な閉鎖状態とに変化する可変入賞装置（例えば、可変入賞球装置（役物）20）と、少なくとも第1事象が発生したことおよび第2事象が発生したことを含む信号出力条件が成立したことにともづいて、外部出力信号を出力するための外部出力手段と、可変入賞装置内の所定領域を遊技媒体が通過したことにともづいて価値を付与する価値付与手段とを備え、外部出力手段は、第1事象が発生したときと第2事象が発生したときとで、当該遊技機に設けられた共通の出力端子から外部出力信号を出力可能であるとともに、外部出力信号を出力しているときに新たに信号出力条件が成立した場合には、外部出力信号の出力が終了するタイミングを遅らせることを特徴とする。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

請求項1に記載された遊技機では、外部装置に情報を出力するための機構の部品数の増加や配線作業の複雑化を防ぐことができる。